

小学校の6年間 背の高さの柱に自分をうつす

川島鈴鹿建築計画



プログラム概要

図画工作の作品制作に当たって、建築設計手法(コンセプトの立案→設計図作成→作品制作→プレゼンテーション)を取り入れた考察の進め方を体験します。さらに、建築の材料にふれ、実寸スケールを感じ、道具を使い、ものづくりのおもしろさを体験します。

対象者	小学生、中学生、高校生	実施可能エリア	プログラム内容と実施時期により全国で可
テーマ	建築・設計(図画工作・美術)	対応可能日	平日授業、土曜日、日・祝日や夏休み等の長期休暇
費用	材料費、交通費実費	主な開催場所	学校
所要時間	90分/回×3回(小学校図画工作教員との連携で制作過程の回数に参加)※類似のプログラムで内容、所要時間をアレンジ可能	対応条件	条件はご相談ください

活動概要

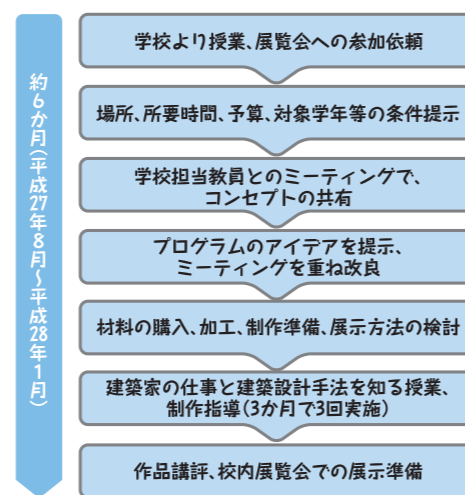
【活動のきっかけ】

事務所のある東京都台東区は、古くから製造・卸の集積地という土地があり、数年前よりモノマチというイベントも開催され、ものづくりの街として定着してきています。

子供たちに、広い意味での「ものづくり」である建築のおもしろさを知ってもらいたい、興味を広げてもらいたいと、第2回モノマチから参加し、建築を近くに感じるワークショップを開催しています。毎回建築関係の職人、メーカーの方々の協力を得て、独自のアイデアを実践してきました。それが活動の機会を広げていただく契機となり、職業体験の建築家体験ワークショップ、文部科学省の土曜学習応援団への賛同へとつながってきました。

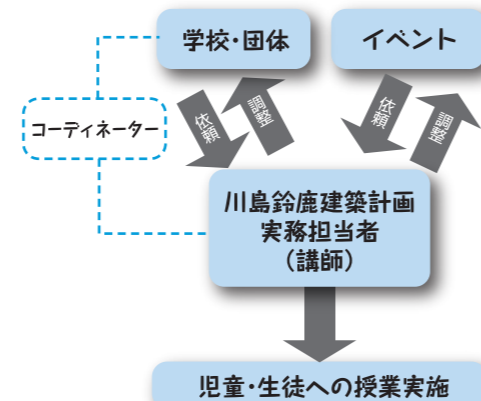
建築のおもしろさを楽しく体験する、というコンセプトのもと、毎回与えられた場所、時間、予算、対象学年などに合わせて、プログラムはその都度組み立てます。

【実施までの流れ】



【実施体制】

授業等の内容は、ご依頼に合わせてアイデアを提示します。今後はコーディネーター等との連携も図っていきます。



活動の特長・工夫

① 建築、設計のおもしろさにふれる

建築家の生きた話を聞き、ものづくりの楽しさや考え方の基本を、ビジュアルで知ります。

② 制作プロセスの体験

建築の設計手法を知ること、考えてつくる楽しさを体験します。

③ 実物、実寸に触れる体験

建築材料、設計材料にふれ、建築やものづくりを生きた体験とします。

プログラム内容

【ねらい】

- 小学校6年間で振り返り、いまの自分の身長と同じ高さの柱材に、自分の6年間で表現した作品を制作する。
- 建築設計手法を知り、コンセプトの立案→設計図作成→作品制作→プレゼンテーションの過程を経験しながら作品を完成させる。

【進行概要(時間・内容)】 事前授業80分+約2か月

STEP1 (20分)

建築家の話と映像で、「建築の今」を知る

世界の建築紹介、設計手法のレクチャーで、興味と過程の理解を促す。

レクチャー

STEP2 (60分)

設計手法の実践・コンセプトの立案

自身の設計コンセプトを立案、スケッチし、考えを制作に移す作業を知る。個々のコンセプトシートをもとに議論し、より明確に考えをまとめる。

スタディ

STEP3 (2か月)

以後、2か月間の図画工作の授業にて、作品を制作する

声かけ、補助をしつつ、自由に制作。(コンセプトは制作途中で変更することもありうる)

ワーク

STEP4

展示計画、展示準備

会場の体育館に、2日間で設営。

STEP5

展示、講評

年1回の校内展覧会への展示。各作品への講評を贈る。

プレゼンテーション



児童の声

考えてコンセプトシートに書くのが難しかった。6年間で作品にできてよかった。

保護者の声

地域に子供のために活動してくれる設計事務所があってうれしい。

教員の声

多くの時間をかけ、実際に仕事をしている人でなければできない、スケールの大きなプログラムになった。

本プログラムのポイント

- 自身の考えを形のあるものに制作することで、表現する力を育む。
- 建築設計の仕事を通して、職業観を育む。

今後の展望

今後も子供たちの力になれるよう活動していきたいと思っています。これまでは対象が小学生であることが多かったのですが、中学・高校生にも提供できるプログラムを考えたいと思っています。いずれもその都度条件に合わせて考えるスタンスは、時間はかかりますが変わらずに行っていきたいと思っています。

企業・団体連絡先:

川島鈴鹿建築計画

〒111-0056 東京都台東区小島2-3-1

TEL: 03-3851-3385 e-mail: ksas@kawashimasuzuka.com